

# 原爆ドーム

## 城東中学校 一路 侑杜さん

ぼくは原爆ドームを初めてそばで見て、あらためて原爆の恐ろしさを実感しました。この建物が64年前までは普通に建っていたと思うと、とても恐ろしいと思いました。この原爆ドームは、戦争や原爆の恐ろしさを今に伝えてくれる建物だと思いました。

## 青山中学校 久木崎 ひかるさん

原爆ドームは、テレビや教科書で見るより迫力があり、私たちに戦争の無意味さ、原爆の恐ろしさを無言で訴えているような気がしました。私たちは、この悲惨な戦争を決して忘れてはいけないと感じました。

# 平和記念資料館

## 柘植中学校 中原 美瑛さん

平和記念資料館の中には、当時の様子が模型で再現されており、多くの写真や遺留品などが展示されていました。原爆を体験していない私たちにもその辛さや苦しみが感じられ、必ず争いのない平和な世界を築いていかなくてはならないと思いました。

## 緑ヶ丘中学校 佐野 凌太さん

平和記念資料館には当時の資料がたくさんありました。その中で一番驚いたのが、被爆当時の人々を表した人形です。原爆が必要のない平和な世界を、自分たちで築いていかねばならないと思いました。

# 被爆体験講話

## 島ヶ原中学校 川西 李奈さん

私は、川本さんの話を聞いて、もう二度と戦争をしてはいけないと、改めて感じる事ができました。私がそのためにできることは、家族や友達に、この戦争の悲惨さや命の大切さを伝えていくことだと思いました。

## 成和中学校 東瀬 清也さん

川本さんの話からは原爆の恐ろしさや悲しみが伝わってきました。たくさんの命と未来を奪った戦争を人間が起こしてしまったのだから、その過ちを二度と繰り返さない事、そして決して忘れない事が僕達人間の責任だと思いました。

第5回伊賀市非核平和推進

中学生派遣団レポート





**霊峰中学校 山本 真由さん**

平和記念式典では、いろいろな国の人たちが集まって、「平和」についてすごく真剣に考えているんだと感動しました。私もまずは自分の周りの平和をつくっていくことが大切ではないかと思いました。

# 平和記念式典

**大山田中学校 廣島 あゆみさん**

私は平和記念式典に参加しました。そこでは、世界中の人が来ていました。話をきく中で、64年たった今も戦争の酷さは消えません。家族や学校、地域の人々に話をきいたことや感じたことを発信していきたいと思います。

**崇広中学校 安川 功恭さん**

平和記念式典では、世界中から参列した多くの人々に圧倒されました。そして、平和への願いが、いかに強いかを感じ、二度と戦争をしてはいけないと心に誓いました。そして、永久に平和であることを強く願います。

## 原爆の子の像

**丸山中学校 小松 源さん**

原爆の子の像のところには、全国から集まった千羽鶴が所狭しと飾られていました。中でも、「P E A C E」の文字が目立ち、全ての鶴一羽一羽から世界平和を求める気持ちが伝わってきました。僕達も平和への祈りをこめて千羽鶴を捧げました。



**阿山中学校 辻森 萌さん**

私達は、原爆の子の像に千羽鶴を捧げました。伊賀市からの鶴もたくさんありましたが、像の前に捧げられていた鶴は、想像以上に多かったです。本当に多くの人が心から平和を願っているということ、強く感じました。



【問い合わせ】

本庁人権政策課

☎ 22・9631  
FAX 22・9649



市では、8月5日から2日間、市内中学生の代表11人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、6日に開催された平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学を通じて、核兵器廃絶への思い、そして世界平和への思いを新たにしました。

また、原爆で家族を失い孤児となつた方のお話などから、家族や仲間を失つても生きていかなければならなかった姿にふれ、「生きる」ということについても改めて考える機会となりました。